

武蔵野市立保健センター増築及び複合施設整備 基本設計書 概要版

【別紙】

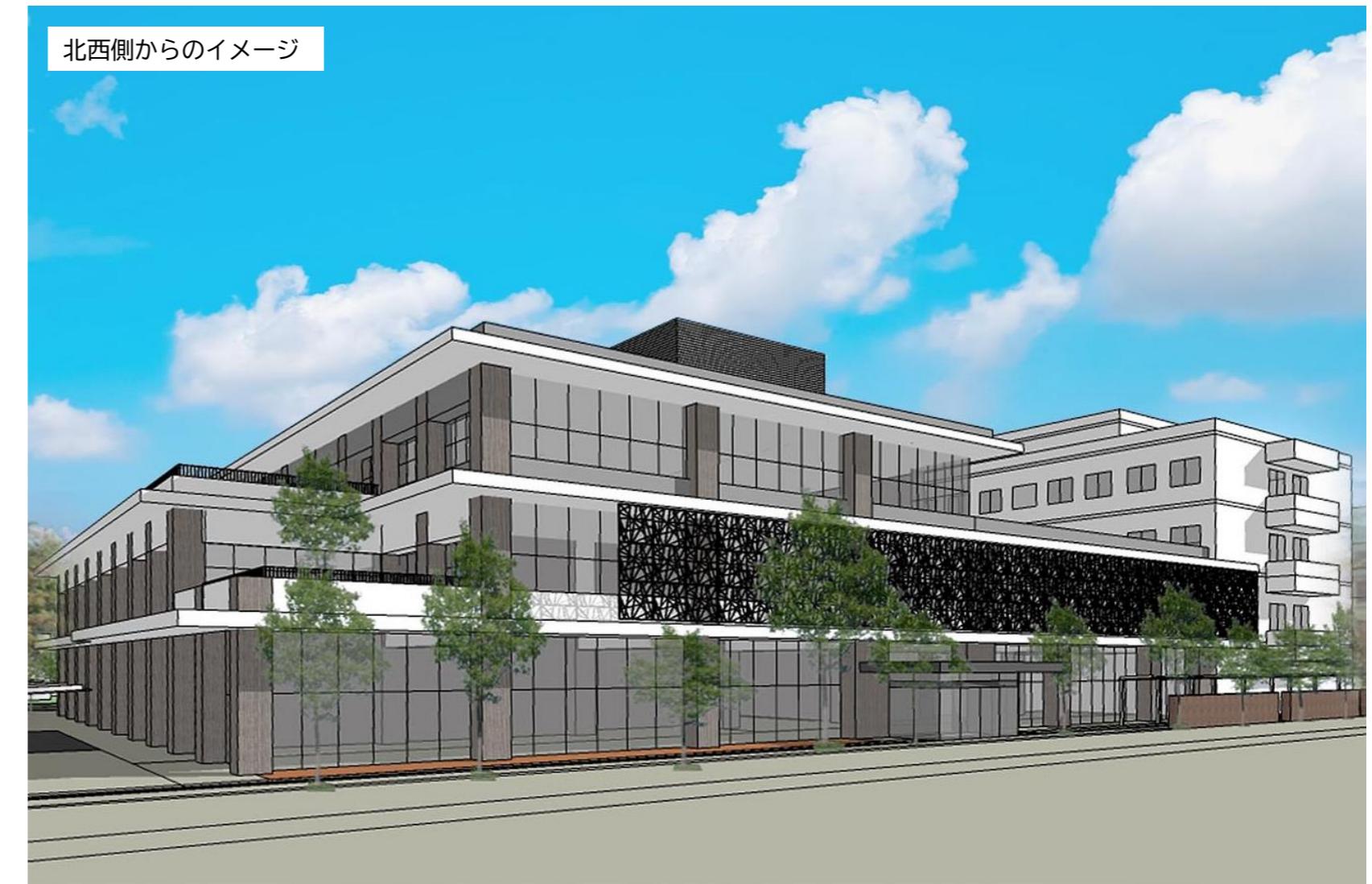
1 保健センター機能の維持と新たな施設の考え方

- ① 既存棟の大規模改修の際には、健（検）診等の保健衛生や母子保健事業等の機能を維持し、医療機器類の移設等が必要最小限となるように増築棟を設計します。
- ② 増築棟と大規模改修後の既存棟の一体的な利活用にあたっては、未来を見据え、保健衛生機能の充実を図ったうえで、子どもと子育て家庭への支援施設を含む「全世代の市民の心と体の健康づくりを総合的に支援する拠点」として整備します。

2 建物概要

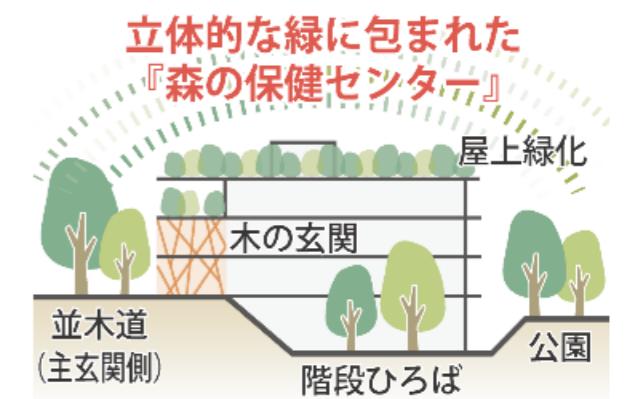
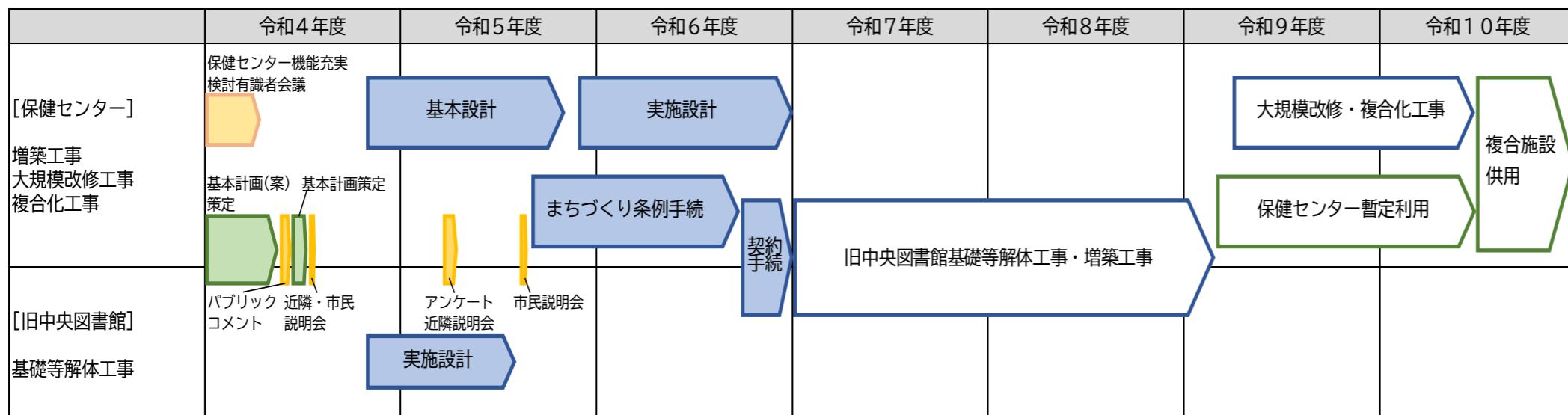
主要用途	：診療所、児童福祉施設等、事務所、学校
構造種別	：RC造（増築棟）、SRC造（既存棟）
階数	：地上4階／地下1階
敷地面積	：4,158.70m ²
建築面積	：2,627.36m ²
延床面積	：8,797.85m ²
各階床面積	：地下1階 1,615.63m ² 1階 2,360.03m ² 2階 2,043.16m ² 3階 1,550.16m ² 4階 1,084.93m ² R階 143.94m ²
建蔽率	：63.17%／70%（上限）
容積率	：196.19%／200%（上限）
最高高さ	：17.56m（増築棟）、20.565m（既存棟）

※今後の実施設計の際に変更になる場合があります。



武蔵野の緑に包まれた健やかな育みの森 健康と子育て【森の保健センター】

3 事業スケジュール



緑あふれる森の中にいるような、自然を感じ、自らの健康を意識する環境づくりをイメージしました。

4 基本設計方針

設計方針1 健（検）診環境の向上

健（検）診受診者及び実施者双方にとって負担が少なく、より安全安心な健（検）診環境の実現を目指し、乳幼児及び老成人の健（検）診エリアはそれぞれ1つのフロア内で健（検）診が完結する配置とします。円滑な受診が可能な動線とし、密にならないゆとりある空間にするとともに、社会情勢や市民ニーズに応じた機器の見直し等を行い、必要な検査を実施できる機能を確保する設計とします。【基本方針1】【留意事項6】

設計方針2 非常時等の活用を想定した空間の確保

非常時は臨時ワクチン接種会場や災害時医療支援拠点に活用できる設えとします。また、一部の部屋に可動式間仕切りを採用するなど柔軟性のある空間を設計します。【基本方針2】【留意事項5】

設計方針3 心身の健康等に関する相談及び子ども子育て総合相談環境の整備

市民にとってわかりやすく、より相談しやすい環境を実現するために、アクセスとプライバシーに配慮した設計とします。【基本方針1、3】【留意事項6】

設計方針4 多部門・多職種による妊娠期から切れ目のない相談支援を行うための諸室・動線の確保

母子保健・療育相談・教育相談等の多様な部門でより高度な連携を図るため、職員同士の連携を促進する一体的な事務スペースを設け、エントランスフロアや乳幼児健康診査エリアとの円滑な移動を可能とする動線とします。【基本方針3】

設計方針5 誰もが気軽に利用できるオープン性の確保

ロビーラウンジを中心に各世代の市民の利用が想定される多目的スペースやアクティビティースペース、ヘルスプロモーションスペース、子育てひろば、子どもの居場所等を周囲に配置することで、誰もが気軽に利用できるオープンな空間として設計します。また、民間団体との連携による多様な支援の強化を目指し、市民や民間団体の活動支援スペースを設置します。【基本方針1、4】

設計方針6 環境性能と災害時対応の両立を目指した設備設計

建築デザインによるエネルギー負荷の抑制や高効率な設備機器選定等により、室内環境の質を維持しつつ環境に配慮します。これに加えて、災害時に電気の供給が滞っても施設の役割を果せるように非常用発電機を整備するとともに、太陽光発電設備（昼間利用）、V2H（ビーグル・トゥ・ホーム：EV自動車からの電力供給）によるトライブリッド蓄電システムを取り入れた設計とすることで、環境配慮と災害時対応の両立を目指した設計とします。【基本方針2】【留意事項8】

設計方針7 ユニバーサルデザインの徹底とより快適に利用できる設備の選定

親子連れ、高齢者、障害者、LGBTQ+等幅広い利用者の特性に配慮し、車いす、ベビーカー等に対応する空間の幅や広さなどを考慮したユニバーサルデザインを徹底します。また、施設全体として市民がより快適に利用できるように各階の用途に応じた多様な衛生設備を選定します。【留意事項6、7】

設計方針8 メンテナンスのしやすさを考慮した設計

日常的に起こりうる不具合への対応や将来の大規模改修における施設運営への影響が小さくなるよう、縦配管スペースの分散配置や配管スペース近接への給排水設備の集約等を行うなど、将来の改修を見据えた配管・配線とします。【留意事項4】

設計方針9 ゆとりと連続性のある景観形成

ゆとりある景観を目指し増築棟を既存棟に寄せて配置して北側の隣地境界からの離隔距離をとり、かつ、3・4階を段階的に後退させるとともに、既存のケヤキを活かした並木と歩道状空地を設けます。また、既存棟と増築棟の外壁面を揃えつつ、建物西側にデザインされたスクリーンルーバーの設置を検討するなど、既存棟からの連続的な景観をつくります。【留意事項1、12】

設計方針10 イニシャル及びランニングコスト抑制

イニシャルコストを抑えるためになるべくシンプルで四角い建物形状で設計するとともに、工事費が地上建物より高額になる地下空間を最小限にとどめます。また、ランニングコストを抑えるために、建物全体として積極的な自然換気を取り入れるとともに樹木による日射・日照の調整を図るなど、パッシブデザインによってエネルギー消費を抑える設計とします。【留意事項4、8】

【参考】武藏野市立保健センター増築及び複合施設整備基本計画

■基本理念	全世代の市民の心と体の健康づくりを総合的に支援する拠点	■留意事項	留意事項 1 留意事項 2 留意事項 3 留意事項 4 留意事項 5 留意事項 6 留意事項 7 留意事項 8 留意事項 9 留意事項 10 留意事項 11 留意事項 12 留意事項 13
■基本方針	基本方針1 人生100年時代を支援する 基本方針2 健康危機管理対策を推進する 基本方針3 妊娠期から切れ目なく子どもと子育て家庭への支援を行う総合拠点 基本方針4 地域で育ち、地域で育てる		周辺への配慮 工事を実施するにあたっての敷地周辺地域の安全と安心の確保 旧中央図書館基礎・杭等の撤去及び増築に係る既存建物の一部撤去 仕様・コスト 諸室 ユニバーサルデザイン・バリアフリー 子どもへの配慮 環境配慮 ネットワーク環境 下水道施設整備に係る調整 東側市立公園（うさぎ山公園、わんぱく公園）との接続 敷地内緑化及び既存樹木の取扱い 既存設備等の保全

5 設計のポイント

① 配置計画

- ・基本計画に示した各機能を実現するために必要な面積を確保しつつ、各階・各室の配置の関係性、柱や耐力壁といった構造体を踏まえた各室の利用者動線、建物全体の避難計画等の観点から、より合理的な平面計画が可能な建物とします。
- ・北側隣地への圧迫感と日陰の影響を可能な限り抑えるため、増築棟を既存棟に寄せて配置するとともに、3・4階を段階的に後退させます。
- ・既存棟と増築棟の連続性を保つため、増築棟の外壁面を既存棟に揃えます。

② フロア構成

- ・既存棟の大規模改修の際に健（検）診等の保健衛生や母子保健事業等の機能を維持し、医療機器類の移設等は必要最小限となるように、増築棟の2階に乳幼児健康診査エリア、3階に老成人健（検）診エリア、4階に臨床検査センターを配置します。
- ・増築棟1階は、誰もが入りやすいエントランスフロアとして、ロビーラウンジを中心に、健康増進活動等を行えるアクティビティースペース、子育てひろばや子どもの居場所、ヘルスプロモーションスペース等を配置し、さまざまな世代が過ごすことができ、必要な情報を得られ、地域活動や支援の入口としての要素も併せ持つフロアとします。
- ・市民にとってわかりやすく、支援にもつながりやすい施設を実現するため、エントランスフロアに近接する既存棟1階に、健康増進に関する窓口と子どもと子育て家庭への支援に関する総合相談窓口を配置します。また、プライバシーの確保が可能な南東角に相談室やプレイルーム等を配置します。
- ・新型感染症等が発生した場合には早期に臨時ワクチン接種会場等のスペースとして、また、災害時には医療支援拠点として迅速に稼働できるように、転用をあらかじめ想定したエントランスフロアを人や物資の移動がしやすい増築棟1階に配置します。また、災害時医療資器材備蓄倉庫は停電時でも円滑に資器材を取り出せるように、既存棟地下1階に配置します。
- ・利用者のプライバシー確保や、音が出る活動などが気兼ねなく実施できるように、増築棟の地下階にチャレンジルームを配置します。

③ 平面計画

- ・増築棟1階のエントランスフロアは、道路からの視認性が高い位置にロビーラウンジと多目的スペースを配置します。また、子育てひろばや子どもの居場所は公園の緑豊かな眺望が望める東側に配置するとともに、屋外テラスを設けて心地よい空間とします。



増築棟1階エントランスフロアのイメージ図

- ・1・2階については、妊娠期から子どもが18歳になるまでの期間の様々な相談、支援、手続等に対応するため、事務スペースから相談室やエントランスフロア、乳幼児健康診査エリア等への円滑な移動を可能とする回遊性のある動線を、施設の中心にあるエレベーター・階段などのコアの外周に確保した計画とします。
- ・乳幼児健康診査エリアは、円滑な受診が可能なように受付から一方通行の移動を基本とした計画とします。
- ・老成人健（検）診エリアは、待合を中心に全ての検査室・検診室を配置しています。また、検査機器の搬出入の動線を確保します。

- 地下に配置するチャレンジルームは、必要な採光が確保できるように、光を取り入れやすいドライエリアに面した位置に学習室を配置します。



地下1階ドライエリア（チャレンジルーム南側）のイメージ図

④ 立面計画

- 既存棟や北側の共同住宅が白系の外壁であることを踏まえて連続性のある街並みとするため、増築棟1～3階は同様の白系の外壁とします。一方で、圧迫感の軽減を図るために、4階の外壁はグレーにすること、柱やパイプスペースの縦のラインをアクセントとして強調することにより分節を図ります。
- 西側壁面へのスクリーンルーバー設置などにより、増築棟と既存棟のデザイン的な調和を図ります。

⑤ 外構計画

- 増築棟の敷地内（西側）にあるケヤキを地域資源として捉えて保存しつつ、ケヤキとアオダモを新植することで、並木による緑豊かな景観形成を目指しながら、樹木による日射・日照の調整等により室内環境の質を維持しつつ環境に配慮した計画としています。また、新植するケヤキはエントランスホールなどの施設内から見たときに豊かな眺望を生み出せる位置とし、内部空間の居心地の良さの向上を図っています。
- チャレンジルームへの経路として利用者に応じた多様な選択肢を確保するため、敷地東側からのアクセスを可能とした通路を設けます。
- 今あるゆとりある歩行空間をさらに充実させるため、既存棟西側に設けている歩道状空地を増築棟の敷地にも延長させます。

⑥ 構造計画

- 建築基準法において最低基準として定められている耐震強度の1.25倍（構造体：Ⅱ類）とします。
- 構造種別は、遮音性の高さ、床振動の小ささ、揺れにくさ、及び経済性に優れた鉄筋コンクリート造とします。ロングスパンとなる梁は、現場打ちプレストレストコンクリート造梁とします。
- 敷地内で行った地盤調査報告書より、表層から約10m～13m 以深に分布する、N 値50 以上の粘土混じり砂礫層を支持層とした直接基礎が考えられます。基礎底から支持層までは、他工法と比較検討を行い、施工性・構造安全性・経済性等に優れた柱状地盤改良を計画します。

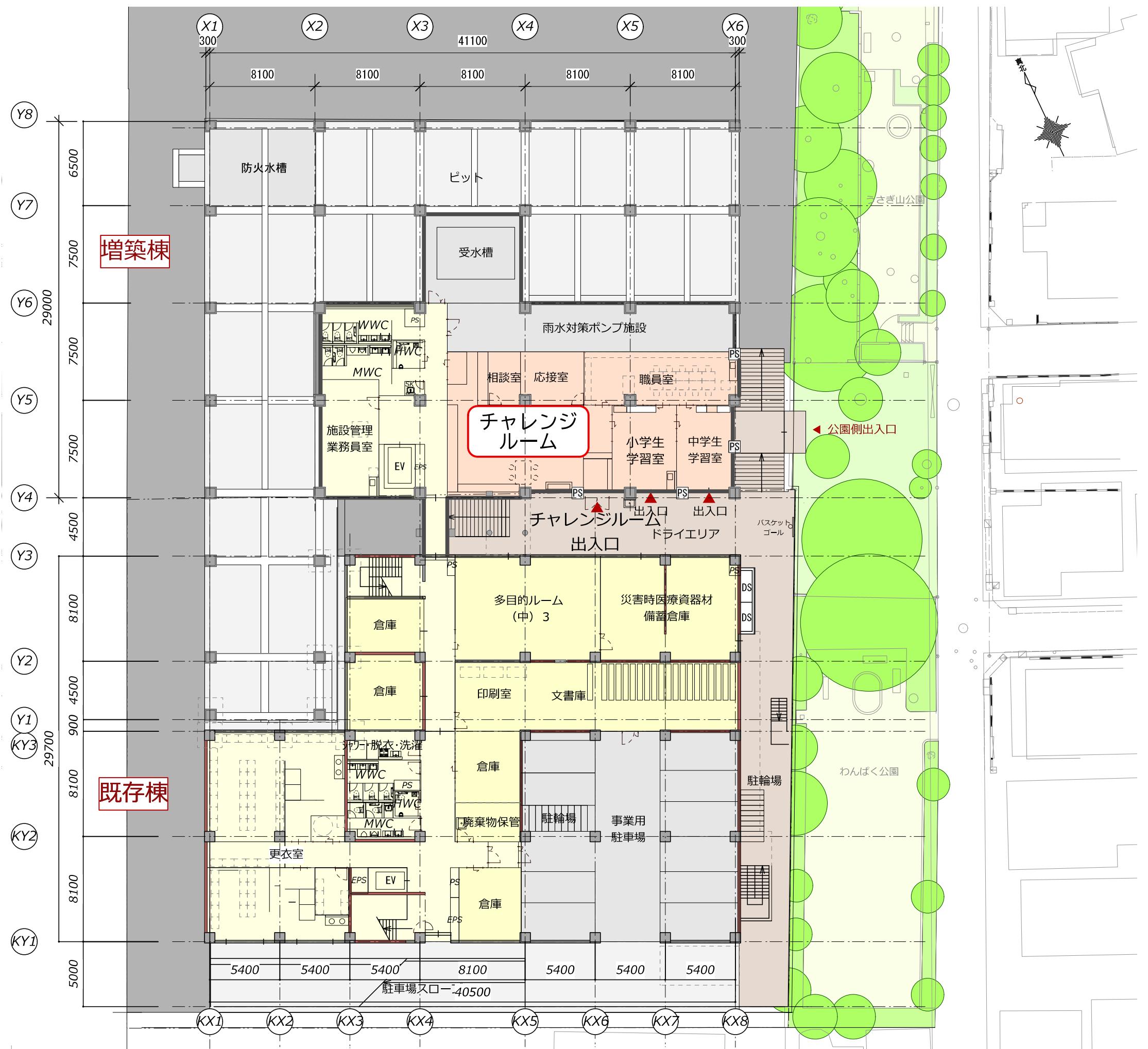
⑦ 電気設備計画

- 各棟にLED 照明の採用を行い、トイレについては人感センサー及び事務所エリアに昼光センサーの設置を行い点滅方式の細分化にて省エネを行います。
- 非常用発電機設備、太陽光設備を設置し、災害時に非常用電源が確保できる計画とします。また、V2H を採用し、災害時に電気自動車を接続することで一部の非常用電源が確保できる計画とします。

⑧ 機械設備計画

- 空調方式は、ZEB 対応の電気式空冷ヒートポンプ（超高効率機器）を採用した個別空調方式とします。また、停電を伴う災害時に備えて、一部の空調設備においてはガスエンジンヒートポンプ屋外機を採用します。
- 換気方式は、個別換気方式とし、全熱交換型換気扇を採用して省エネルギー性の高い計画とします。また、トイレ排気などのエアーバランスを考慮する箇所は外気処理型空調機を設置し給気します。
- 換気量は、ビル管理衛生法、建築基準法に準拠し、また、感染症対策に配慮した換気量を計画します。
- 空調換気の省エネルギー運転管理のための中央監視システムを導入します。
- 衛生器具は、衛生的で節水性の高い器具を選定し、水栓は自動水栓を基本とします。
- 給水方式は、断水時、災害時にも給水確保を可能とするため、受水槽を設置した加圧給水方式とします。なお、加圧給水ポンプは、非常用発電機からの電源供給を行います。
- 給湯方式は、個別給湯方式とし使用箇所、使用量に合わせて機器を選定します。
- 排水は、自然流下で下水道本管へ放流します。地階は汚水槽に貯留後ポンプアップにて放流します。
- 消火設備は、防火対象物の用途判断に合わせ消防法に準拠し設置します。
- 空調用、給湯用として都市ガスを引込供給します。
- 市の指導要綱に準拠し、雨水抑制設備として貯留槽、浸透施設を計画します。

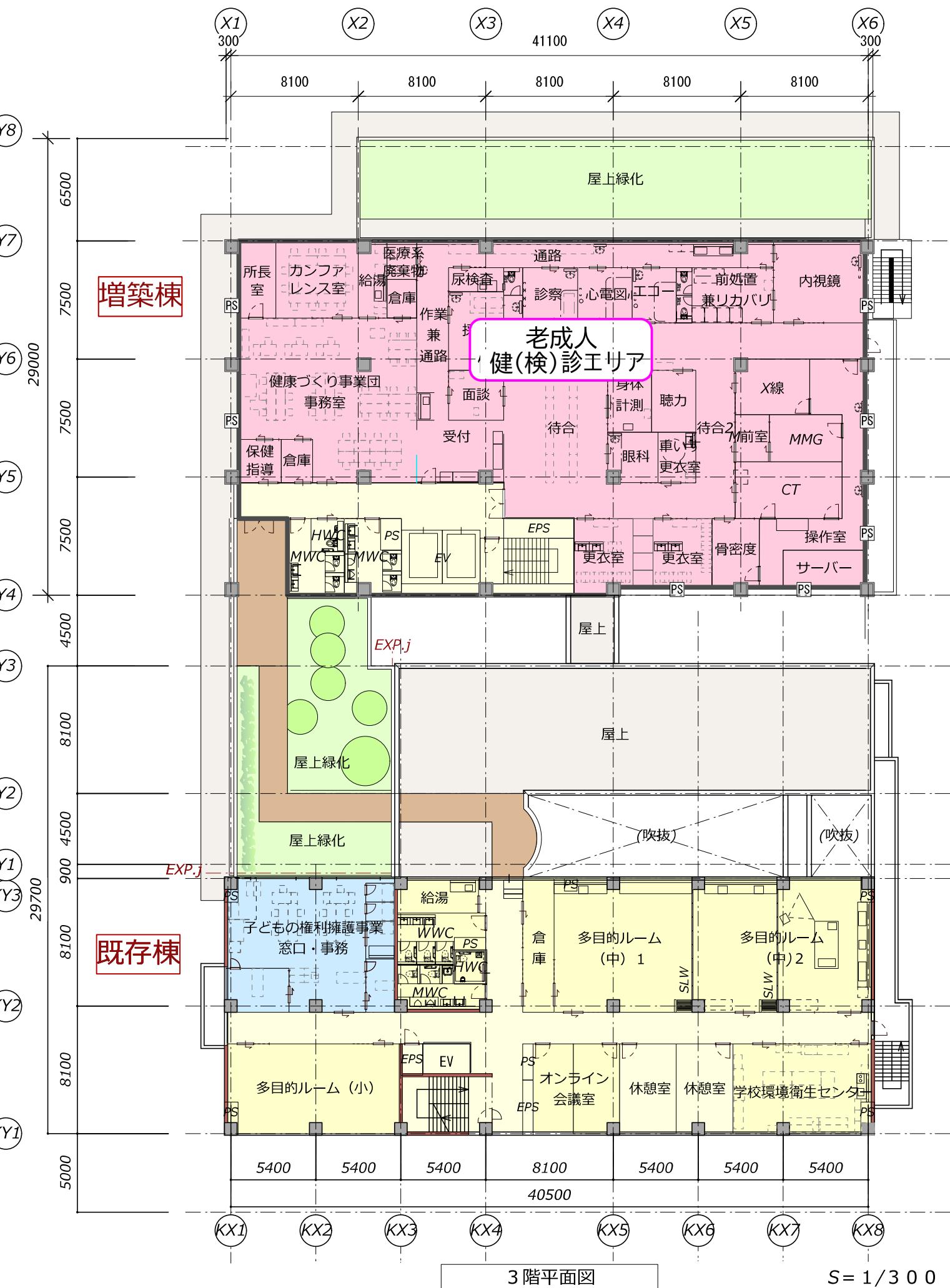
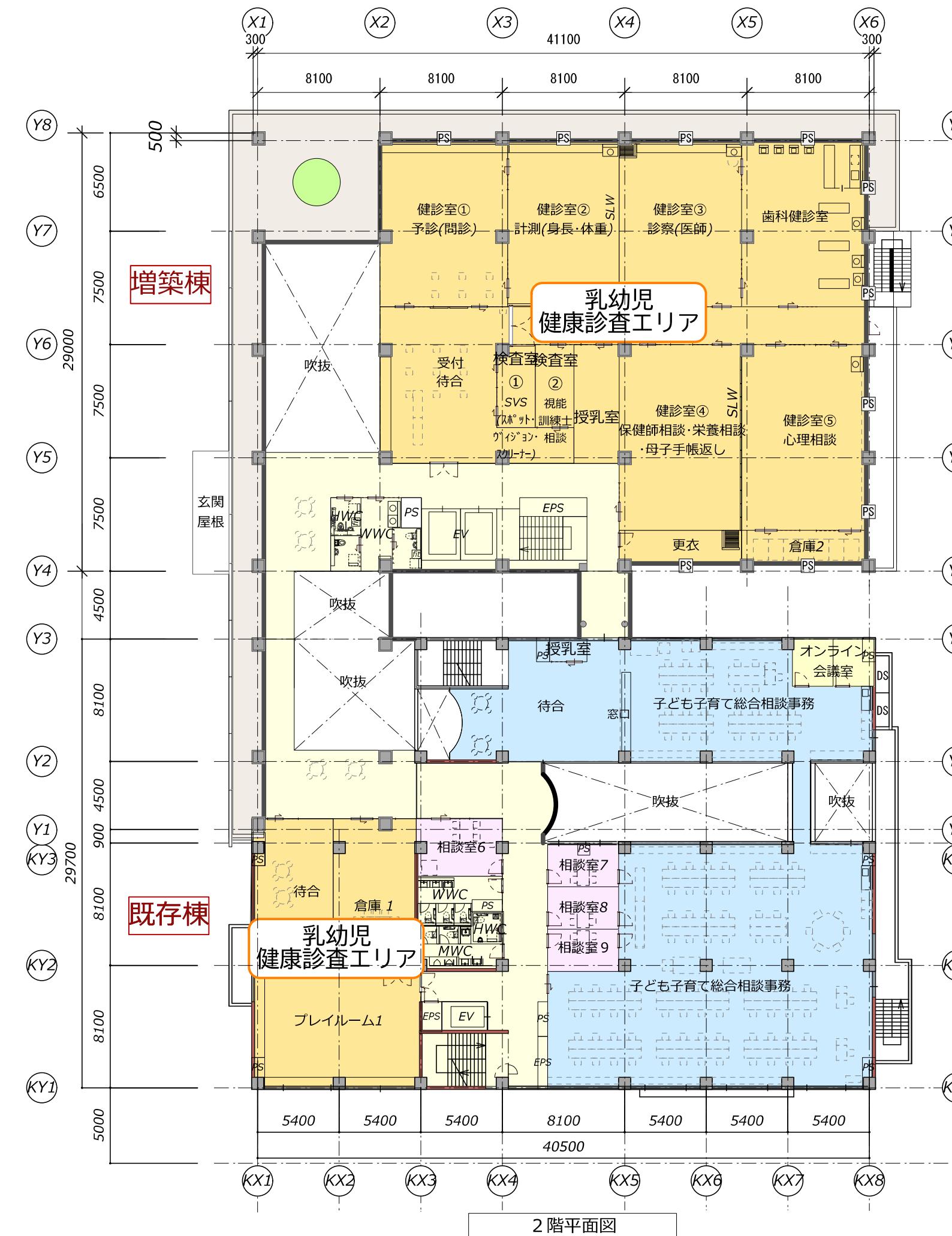
6 平面図



B1 階平面図

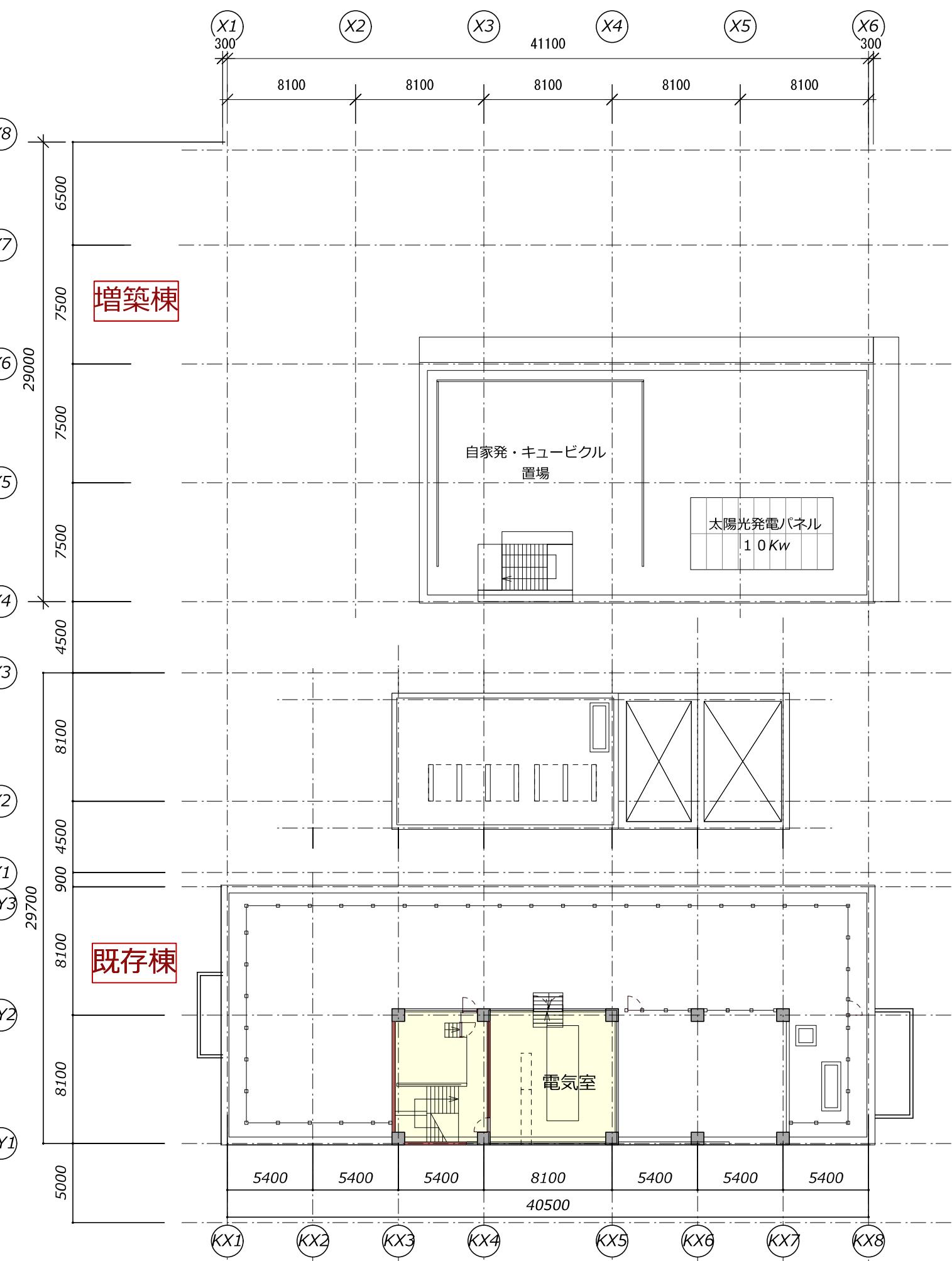
$$S = 1/3 \ 0 \ 0$$





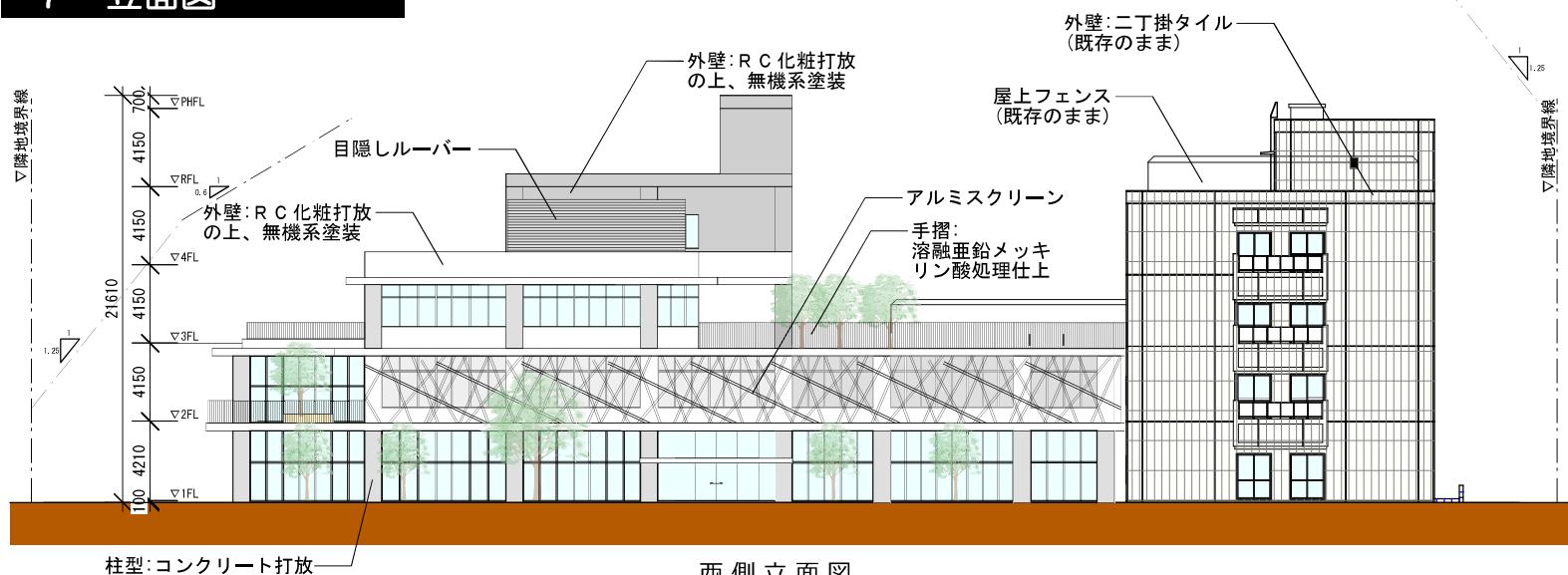


4 階平面図

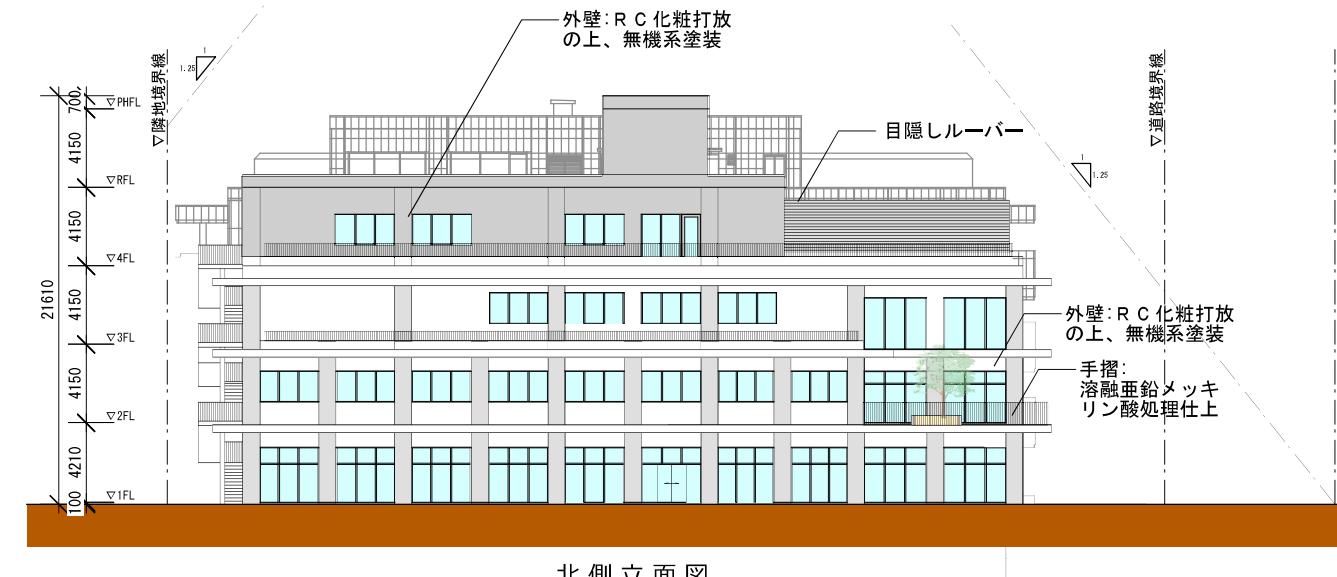


RF平面図

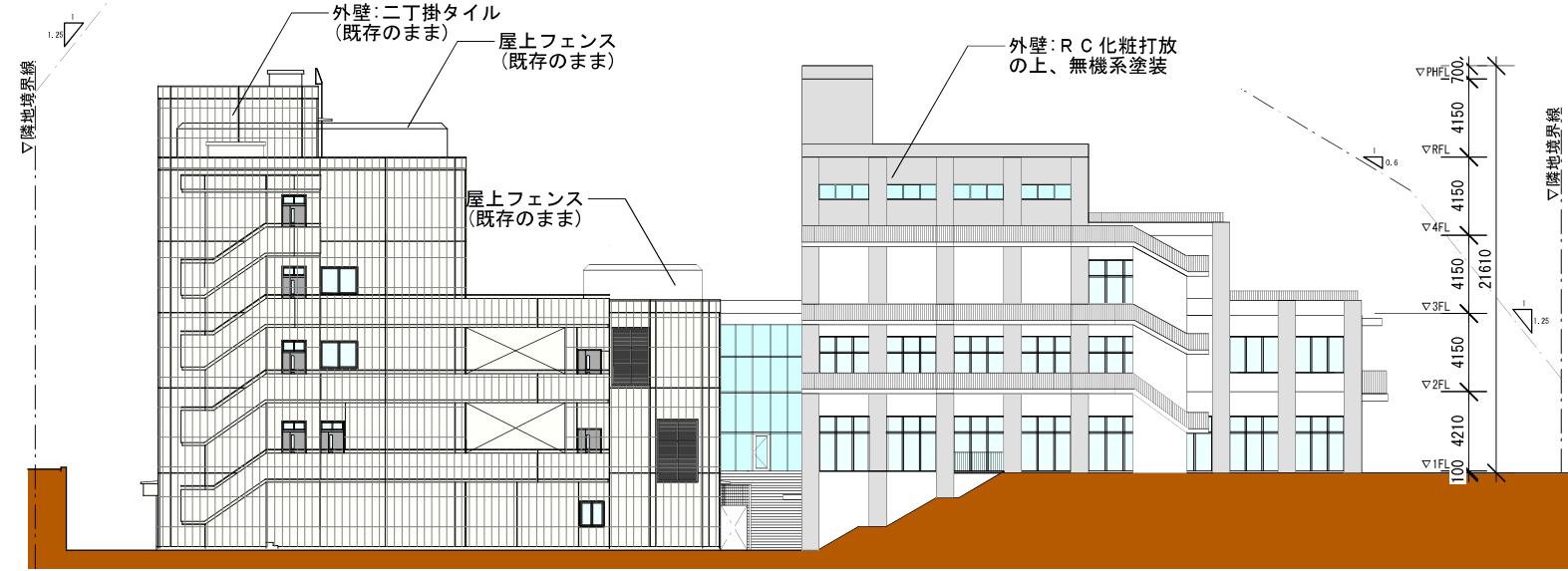
7 立面图



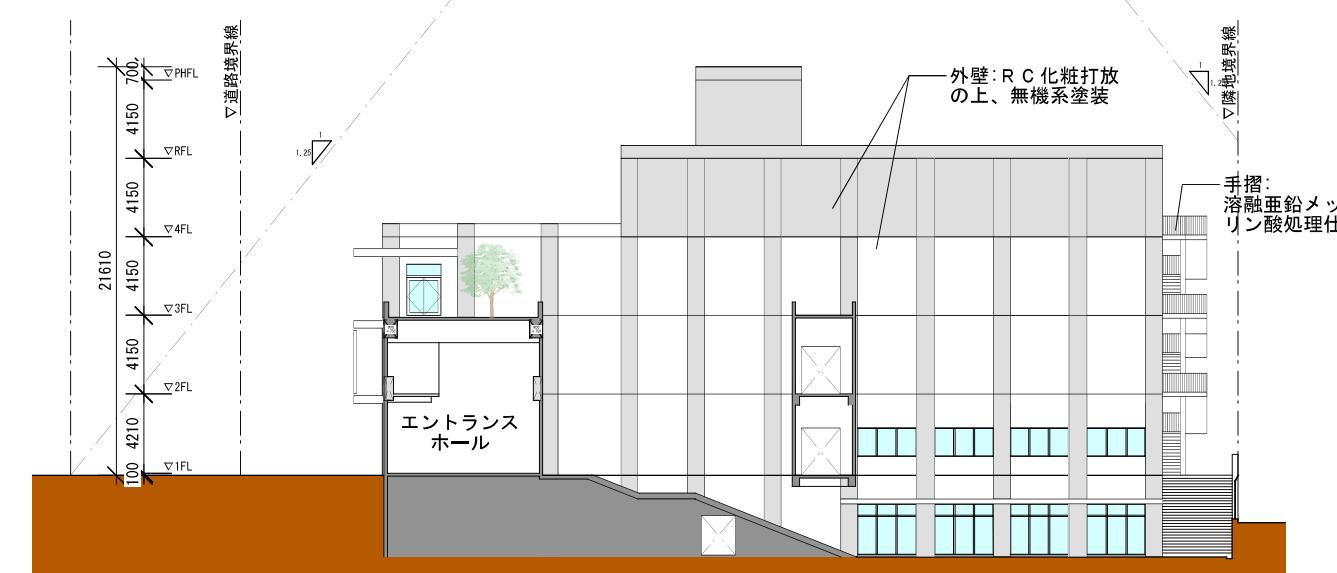
西側立面図



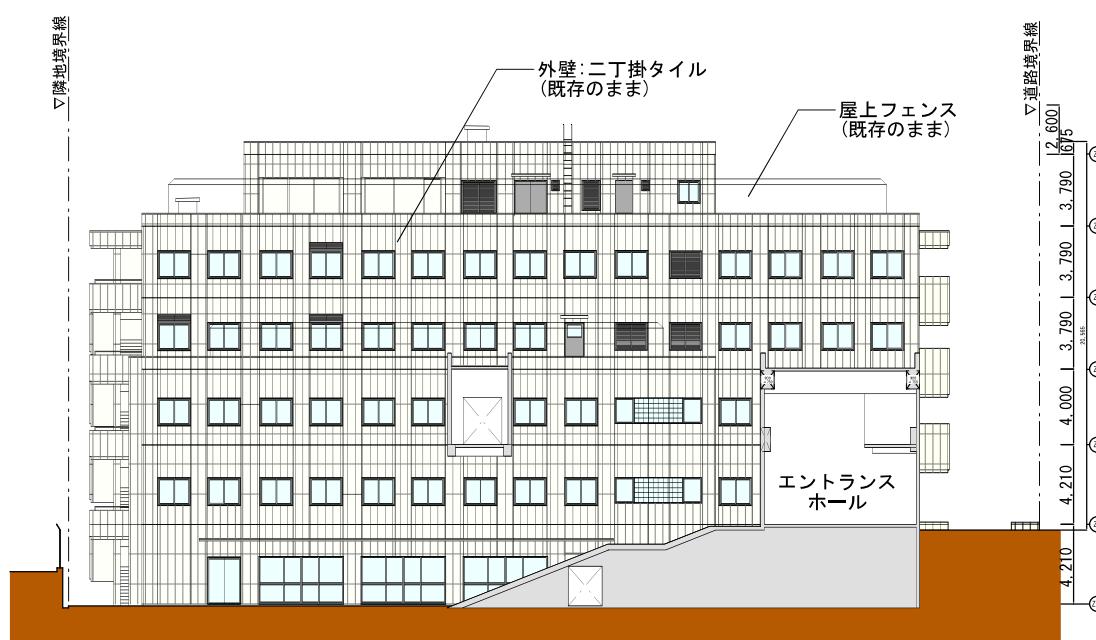
北側立面図



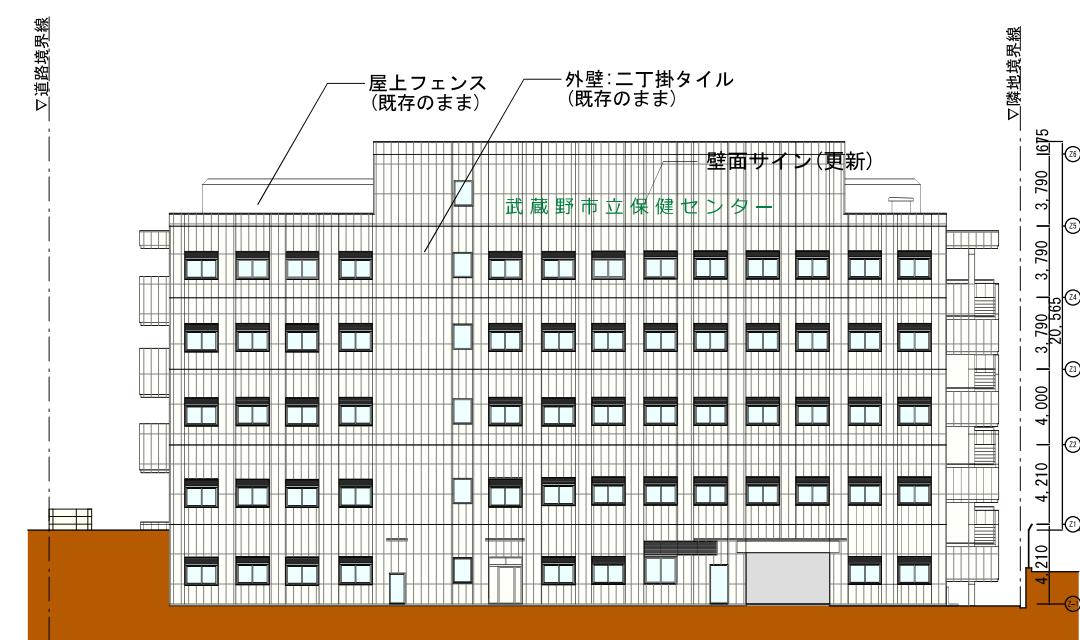
東側立面図



南側立面図(増築棟)



北側立面図(既存棟)



南側立面図

担当課 総合政策部企画調整課
健康福祉部健康課
財務部施設課

$S = 1/4\ 0\ 0$